

シュタイプ製品録



受賞歴のある肥料&活力剤ブランド

ミネラルシリーズ

製品一覧

弊社のミッション	p. 4
ミネラルシリーズ	p. 5
グロウ / Grow	p. 6
ショートフラワリング / Short Flowering	p. 7
ハイブリッド / Hybrids	p. 8
ロングフラワリング / Long Flowering	p. 9
ブースター / Booster	p. 10–11
カルシウム / Calcium	p. 12

使用方法

はじめに&施肥スケジュールの例	p. 13
-----------------	-------

ソイル施肥スケジュール – プロ栽培者

ソイル – ショートフラワリング	p. 14
ソイル – ハイブリッド	p. 15
ソイル – ロングフラワリング	p. 16

ココ培地施肥スケジュール – プロ栽培者

ココ培地 – ショートフラワリング	p. 17
ココ培地 – ハイブリッド	p. 18
ココ培地 – ロングフラワリング	p. 19

ロックウール培地施肥スケジュール – プロ栽培者

プロ用のロックウール培地施肥スケジュール	p. 20–21
「シンプルにいこう」施肥スケジュール	p. 22–23

バイオシリーズ

製品一覧

弊社のミッション	p. 26
バイオシリーズ	p. 27
バイオグロウ	p. 29
バイオブルーム	p. 30
バイオエンハンサー	p. 31

使用方法

バイオグロウ、バイオブルーム、バイオエンハンサー	p. 32
屋内・屋外での使用量一覧	p. 33–34

Keep it simple!®

弊社のミッション

グリーンハウスフィーディングの目標は、世界中の栽培者に最高品質の植物用栄養素を提供し、植物がもつ遺伝的な潜在能力を最大限に引き出すことで、それまでにないほどの成果を可能にすることです。

効率の良い製品を生み出すだけでなく、施肥をシンプルにすることを意識しています。

弊社のミネラル製品は粉末状に加工されているため、使用、保管、運搬がしやすく、液体肥料よりも長く保存することができます。

弊社の肥料に使われる主な原材料はドイツまたはスイスで採れたものです。これらの国は複数の世界最高水準の品質基準を設けています。

弊社製品は植物成長調整剤（PGR）や不純物を含まず、重金属の濃度も極力まで抑えられています。

高品質のミネラルのみを使用することで、最も純度が高く効率性に優れ、100%水に溶ける高濃度粉末肥料が生まれました。

弊社のミネラル肥料は、土に混ぜてから一週間以上、一定の電気伝導率（EC）とpH値を保ちます。高濃度の保存溶液は数ヶ月間保存することも可能です。

弊社のすべての製品は欧州議会・理事会規則（CE）889/2008および2003/2003に従っています。



ミネラルシリーズ

粉末肥料シリーズ



Grow グロウ

窒素：りん酸：カリウム=24：6：12



shortFlowering ショートフラウリング

窒素：りん酸：カリウム=16：6：26



Hybrids ハイブリッド

窒素：りん酸：カリウム=15：7：22



longFlowering ロングフラウリング

窒素：りん酸：カリウム=18：12：18

活力剤シリーズ



Booster PK+ ブースターPK+

窒素：りん酸：カリウム=0：30：27



Calcium (Chelated) カルシウム（キレートタイプ）

窒素：りん酸：カリウム=6：0：0

1.1lb
2.2lb
5.5lb
55lb

125g
500g
1Kg
2.5Kg
25Kg



Grow グロウ

あらゆる植物の生長期のために特別に作られた製品です。生長期を通じて植物の最適な発育を促し、より生き生きと力強く、抵抗力のある植物を育てます。グロウは親株や挿し木の生産にも最適で、また葉面散布による栄養補給に用いるのも非常に効果的です。

栄養分の素早い同化と高濃度の窒素が植物の軸を強化して枝分かれを促進し、葉に厚みを与えます。

厚い葉肉はより多くの貯蔵養分を蓄え、挿し木の素早い発根を促します。

最大溶解量: 160g/L (水)

保存溶液のための推奨分量: 30g/L (水)



保証分析値

24%	[N]	総窒素
13%		窒素全量
11%		硝酸性窒素
6%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸
12%	[K ₂ O]	水溶性加里
2%	[MgO]	水溶性苦土
0,02%	[B]	水溶性ほう素
0,04%	[Cu]	水溶性銅 (EDTAによるキレート化)
0,1%	[Fe]	水溶性鉄 (EDTAによるキレート化)
0,05%	[Mn]	水溶性マンガン (EDTAによるキレート化)
0,01%	[Mo]	水溶性モリブデン
0,01%	[Zn]	水溶性亜鉛 (EDTAによるキレート化)

N:P:K=24:6:12

豆知識:

窒素は光合成やタンパク質の生成など、植物の重要な機能の多くに極めて重要な役割をもっています。生長期の植物は、開花期に比べてより多くの窒素を必要とします。植物は硝酸性窒素とアンモニア性窒素という二種類の窒素を利用しますが、いずれの窒素も植物がすぐに吸収できる形態で存在しています。窒素が不足すると発育不良、葉の黄化、たんぱく質の減少を引き起こします。



shortFlowering ショートフラワリング

開花期が8週間以内の植物が短期間でより大きな果実や花を多くつけるためには、すぐに吸収できるカリウム（加里）を初期に多く必要とします。

最大溶解量: 160g/L (水)

保存溶液のための推奨分量: 30g/L water



保証分析値

16%	[N]	総窒素
11%		窒素全量
5%		硝酸性窒素
6%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸
26%	[K ₂ O]	水溶性加里
3,3%	[MgO]	水溶性苦土
0,02%	[B]	水溶性ほう素
0,04%	[Cu]	水溶性銅 (EDTAによるキレート化)
0,1%	[Fe]	水溶性鉄 (EDTAによるキレート化)
0,05%	[Mn]	水溶性マンガン (EDTAによるキレート化)
0,01%	[Mo]	水溶性モリブデン
0,01%	[Zn]	水溶性亜鉛 (EDTAによるキレート化)

N:P:K=16:9:26

豆知識:

カリウムは植物の代謝において大量に必要とされ、重要な役割を担います。二酸化炭素の吸収を加減し、光合成のためのエネルギー源の生成に必要とされ、養分と水分の吸収を調整する働きがあります。カリウムが不足すると発育不良、水循環の悪化、果実の不均一な成熟につながり、植物が環境によるストレスを受けやすくなります。



1.1lb
2.2lb
5.5lb
55lb

125g
500g
1Kg
2.5Kg
25Kg



Hybrids

ハイブリッド

ハイブリッドはアンモニア性窒素を少なめに、マグネシウム（苦土）を多めに含み、開花期が8～10週のハイブリッド種および水耕栽培の植物に適しています。マグネシウムと硫酸塩を多く与えるとエッセンシャルオイル、テルペン、フラボノイドの生産性を高めることができます。

最大溶解量: 160g/L（水）
保存溶液のための推奨分量: 30g/L（水）



保証分析値

15%	[N]	総窒素
10%		窒素全量
5%		硝酸性窒素
7%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸
22%	[K ₂ O]	水溶性加里
6%	[MgO]	水溶性苦土
0.03%	[B]	水溶性ほう素
0.002%	[Cu]	水溶性銅（EDTAによるキレート化）
0.12%	[Fe]	水溶性鉄（EDTAによるキレート化）
0.05%	[Mn]	水溶性マンガン（EDTAによるキレート化）
0.005%	[Mo]	水溶性モリブデン
0.01%	[Zn]	水溶性亜鉛（EDTAによるキレート化）

N:P:K=15:7:22

豆知識

窒素やカリウムと同じように、マグネシウムもクロロフィル（葉緑素）の生成や光合成において重要な役割をもっています。また酵素の活性を助け、たんぱく質の合成を促します。マグネシウムが不足すると発育不良が起こり、そのサインとして葉脈間に黄化が見られます。またカルシウム、カリウム、ナトリウムのような他の要素を過剰に摂取するとマグネシウムの吸収が妨げられてしまうことがあります。



longFlowering

ロングフラワリング

特に開花期が10週以上の植物の場合、NPK（窒素・りん酸・カリウム）比のバランスが良ければ開花期を十分な窒素が供給され、リン（燐）が多く含まれていると根全体がしっかりと健康に育ちます。

最大溶解量: 160g/L（水）
保存溶液のための推奨分量: 30g/L（水）



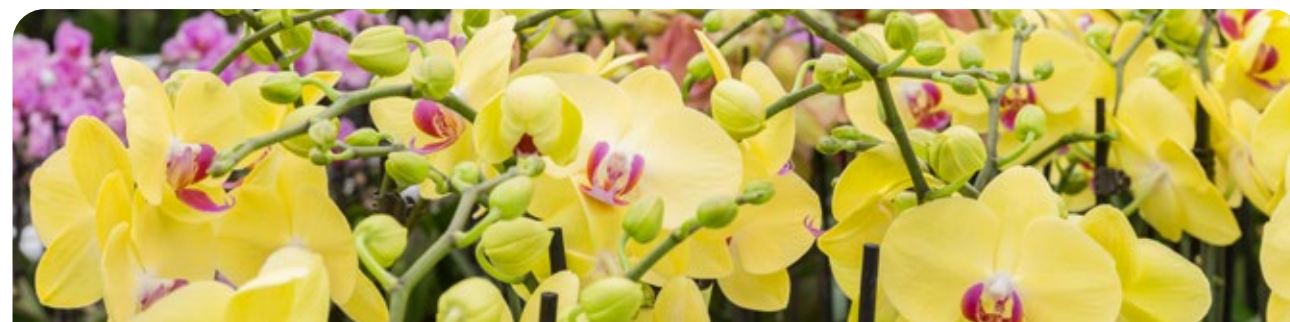
保証成分量

18%	[N]	総窒素
10%		窒素全量
8%		硝酸性窒素
12%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸
18%	[K ₂ O]	水溶性加里
2%	[MgO]	水溶性苦土
0.02%	[B]	水溶性ほう素
0.04%	[Cu]	水溶性銅（EDTAによるキレート化）
0.1%	[Fe]	水溶性鉄（EDTAによるキレート化）
0.05%	[Mn]	水溶性マンガン（EDTAによるキレート化）
0.01%	[Mo]	水溶性モリブデン
0.01%	[Zn]	水溶性亜鉛（EDTAによるキレート化）

N:P:K=18:12:18

豆知識

“微量元素“と呼ばれるほう素はわずかな量しか必要でないものの、花粉管の形成、植物内の糖分やでん粉の調整、細胞膜内のカリウムイオンの輸送など、植物の機能にとって欠かせません。ほう素は糖分子と結合するため、植物体内をうまく移動することができません。



1.1lb
2.2lb
5.5lb
55lb

125g
500g
1Kg
2.5Kg
25Kg



Booster PK+

ブースターPK+

この活力剤は適量のリン、カリウム、マグネシウム、微量元素を含み、樹脂の生成と花のつき方や密度を増進します。

グリーンハウス・パウダーフィーディング、カルシウム、ブースターを組み合わせることで、健康づくりと生産力向上のための各植物に合わせたプロ仕様の肥料が出来上がります。

ブースターPK+には、配合比率のバランスが適切でない時にリンとカリウムの吸収が制限されてしまわないよう、マグネシウムと微量元素を余分に配合しています。

植物はすべての要素を十分に与えられてはじめて、遺伝的な潜在能力を完全に発揮することができるのです。

最大溶解量: 250g/L (水)

保存溶液のための推奨分量: 30g/L (水)



保証成分量

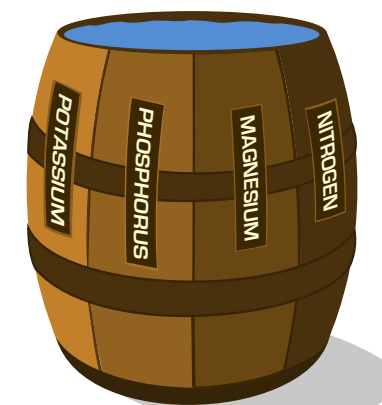
30%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸
27%	[K ₂ O]	水溶性加里
8.2%	[MgO]	水溶性苦土
0.03%	[B]	水溶性ほう素
0.002%	[Cu]	水溶性銅 (EDTAによるキレート化)
0.12%	[Fe]	水溶性鉄 (EDTAによるキレート化)
0.05%	[Mn]	水溶性マンガン (EDTAによるキレート化)
0.005%	[Mo]	水溶性モリブデン
0.01%	[Zn]	水溶性亜鉛 (EDTAによるキレート化)

0-30-27 NPK+

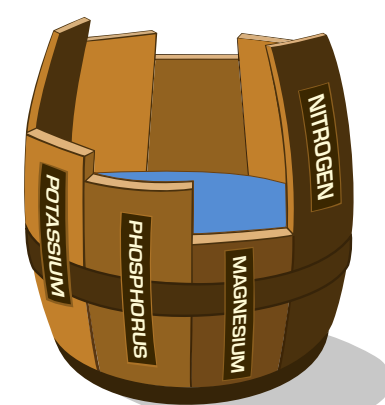
豆知識

バランスのとれた栄養分がなければ高い生産性を達成することはできません。大事な栄養素が一つでも欠けていると、他の栄養素が豊潤にあったとしても、植物は最少の栄養素の分しか成長しません。さらに、欠けている栄養素が最も必要量の少ないものであったとしても、植物は他の栄養素を取り込むことができません。つまり微量しか必要でない栄養素も多く必要とされる栄養素と同じくらい大切だということです。

“ドベネックの桶”もこの原理を裏付けるために使用されます。土壌に多く含まれる栄養素の有効性は、土壌中の最も少ない栄養素の有効性によって決まるのです。



Booster あり



Booster なし

ドベネックの桶

弊社のブースターにはリンやカリウムだけでなくマグネシウムと微量元素も余分に配合され、養分量のバランスを良くし、一部の栄養素不足によるその他の栄養素の吸収抑制を防ぎます。



1.1lb
2.2lb
5.5lb
55lb

500g
1Kg
2.5Kg
25Kg

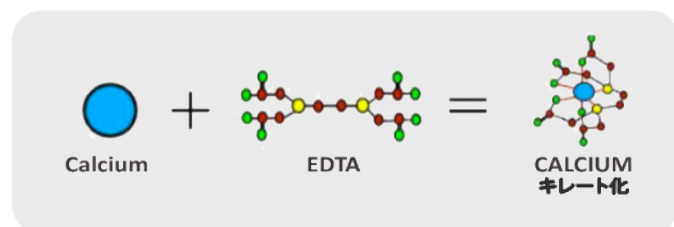


Calcium (chelated)

カルシウム (キレートタイ)

水に含まれるカルシウムが推奨量に達しない時、この活力剤の使用をおすすめします。弊社製品に使用するカルシウムはEDTAによりキレート化されているため、本製品は非常に安定し、他の栄養素との相互作用もありません。カルシウムは健康な作物を育てるために欠かせず、植物の細胞壁と軸を強化します。弊社のキレートカルシウムは、カルシウムの同化ができないため、またはそのバランスが良くないために引き起こされるカルシウム不足を防ぎ、あるいは補います。

最大溶解量: 300g/L (水)
保存溶液のための推奨分量: 90g/L (水)



カルシウム使用量の目安

ROまたは極度の軟水の場合→推奨量
軟水の場合→推奨量の50~80%
中硬水の場合→推奨量の10~50%
硬水の場合→カルシウムは不要

豆知識

微量元素（無機金属）のほとんどはキレート化することができ、理想的な生育環境でなくても植物がそれらをいつでも吸収できる状態に保つことができます。キレート剤として最も一般的で安定性があるのがEDTA（エドト酸）です。窒素もEDTAを構成する分子の一部ですが、植物はこの窒素を吸収することはできません。



RO（逆浸透膜）システム

RO水を使用している場合はカルシウムを補う必要があります。*定期的にROシステムの点検を行ってください。

使用法 / 例の表

はじめに

植物のライフサイクル（生活環）は主に生長期と開花期の二つに分けられます。

どちらの時期もさらに細かい段階に分類することができ、それぞれの段階で必要なものが異なります。

生長期

- 1.) 幼苗 (<15cm)
- 2.) 苗 & 挿し木苗 (15~25cm)
- 3.) 成熟過程の植物 (25~35cm)
- 4.) 成熟植物 (>35cm)

開花期

- 1.) 開花前 / 開花への移行期 (1~3週目)
- 2.) 花成と生長 (3~6週目)
- 3.) 花の成熟 (結実) (7週目~)

生長期 開花期

短花性

一覧表の例

	幼苗 (<15cm)	苗 / 挿し木苗 (15-25cm)	成熟過程の植物 (25-35cm)	成熟植物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9
Grow / Short Flowering (g/L)	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.0
TDS (ppm)	412	449	487	524	559	559	489	419	419	349	349	280	0
Booster PK+ (g/L)							0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							100	175	200	250	300	250	0
Calcium (g/L)	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	1.3	0.8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.0
TDS (ppm) Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	260	260	16	0
総EC値 (mS/cm)	1.0	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.4	0.0
TDS total (ppm)	512	609	687	724	759	759	789	794	819	859	909	546	0

*ハンナTDS計 (500ppm = 1.0 mS/cm)

あたりの肥料の量
水 1 リットル

総EC/TDS値
肥料溶液の

警告！

- 次の表にある値はEC0.0の水を使って測定しています
- 水質や温度によってpH値が低くなることがあります
- カルシウムを与えた場合、水質や温度によってpH値が高くなることがあります
- 弊社のミネラルシリーズをCalMagと併用しないでください。硝酸カルシウムはりん酸カリウムおよび硫酸マグネシウムと部分的に相性が悪く、石膏の形成、パイプ詰まり、欠陥の原因になります
- 弊社のミネラル肥料にはカルシウムが含まれていないため、極度の軟水、雨水、浸透水を使用する場合はカルシウムの追加が必要です
- 肥料溶液は18~22℃で保管してください
- 排水のECを確認し、EC2.5より高い場合は洗い流してください
- 最良の成果を出すためには次のpH値を維持してください
 - > ソイル: 6.0~6.5
 - > 水耕 / ココ: 5.8~6.2
 - > ロックウール: 5.5~6.0

ソイル施肥スケジュール プロ栽培者

ソイル
(EC:1.0 mS/cm)

shortFlowering	生長期				開花期								
	幼苗 (<15cm)	苗 / 挿し木苗 (15-25cm)	成熟過程の植 物 (25-35cm)	成熟植物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9
Grow / Short Flowering (g/L)	0,6	0,6	0,7	0,7	0,8	0,8	0,7	0,6	0,6	0,5	0,5	0,4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.0
TDS (ppm)	412	449	487	524	559	559	489	419	419	349	349	280	0

Booster PK+ (g/L)							0,2	0,3	0,4	0,5	0,6	0,5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							100	175	200	250	300	250	0

Calcium (g/L)	0,5	0,8	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,3	1,3	0,8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.0
TDS (ppm)Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	260	260	16	0

総EC値 (mS/cm)	1.0	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.4	0.0
TDS total (ppm)	512	609	687	724	759	759	789	794	819	859	909	546	0

ソイル施肥スケジュール プロ栽培者

ソイル
(EC:1.0 mS/cm)

Hybrids	生長期				開花期									
	幼苗 (<15cm)	苗木 / 挿木苗 (15-25cm)	成熟過程の植 物 (25-35cm)	成熟植物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9	週数 10
Grow / Hybrids (g/L)	0,6	0,6	0,7	0,7	0,8	0,8	0,6	0,6	0,6	0,5	0,5	0,5	0,4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.0
TDS (ppm)	412	449	487	524	559	559	419	419	419	349	349	349	280	0

Booster PK+ (g/L)							0,4	0,4	0,4	0,5	0,6	0,5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							175	175	200	250	300	250	0

Calcium (g/L)	0,5	0,8	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,3	1,3	0,8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.0
TDS (ppm)Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	260	260	160	0

総EC値 (mS/cm)	1.0	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.4	0.0
--------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

ソイル施肥スケジュールプロ栽培者

ソイル
(EC:1.0 mS/cm)

longFlowering	生長期				開花期												
	幼苗 (<15cm)	苗木 / 挿木苗 (15-25cm)	成熟過程の植 物 (25-35cm)	成熟植 物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9	週数 10	週数 11	週数 12	週数 13
Grow / Long Flowering (g/L)	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0
TDS (ppm)	412	449	487	524	559	559	489	454	419	419	349	349	280	280	280	280	0
Booster PK+ (g/L)							0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							100	150	175	225	250	300	349	349	300	250	0
Calcium (g/L)	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	0.8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.0
TDS (ppm)Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	200	260	260	260	200	200	160	0
総EC値 (mS/cm)	1.0	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8	1.7	1.6	1.4	0.0
TDS total (ppm)	512	609	687	724	759	759	789	804	794	844	859	909	889	829	779	689	0

ココ培地施肥スケジュールプロ栽培者

ココ培地
(EC:0.0 mS/cm)

shortFlowering	生長期				開花期								
	幼苗 (< 15cm)	苗木 / 挿木苗 (15-25cm)	成熟過程の植物 (25-35cm)	成熟植物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9
Grow / Short Flowering (g/L)	0,6	0,7	0,7	0,7	0,8	0,8	0,7	0,7	0,6	0,6	0,5	0,4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.9	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.0	1.0	0.8	0.8	0.7	0.6	0.0
TDS (ppm)	449	487	562	562	594	594	489	489	419	384	349	280	0
Booster PK+ (g/L)							0,3	0,3	0,4	0,5	0,6	0,5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.3	0.3	0.4	0.6	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							150	175	225	250	300	250	0
Calcium (g/L)	0,5	0,8	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,3	1,3	0,8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.0
TDS (ppm)Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	260	260	160	0
総EC値 (mS/cm)	1.1	1.3	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.4	0.0
TDS total (ppm)	549	647	761	761	794	794	839	864	844	894	909	689	0

ココ培地施肥スケジュールプロ栽培者

ココ培地
(EC:0.0 mS/cm)

Hybrids	生長期				開花期									
	幼苗 (< 15cm)	苗木 / 挿木苗 (15-25cm)	成熟過程の植物 (25-35cm)	成熟植 物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9	週数 10
Grow / Hybrids (g/L)	0,6	0,7	0,7	0,7	0,8	0,8	0,7	0,7	0,6	0,5	0,5	0,5	0,4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.9	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.0	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.0
TDS (ppm)	449	487	562	562	594	594	489	489	419	384	349	349	280	0
Booster PK+ (g/L)							0,3	0,3	0,4	0,5	0,6	0,6	0,5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							150	175	225	250	300	300	250	0
Calcium (g/L)	0,7	0,8	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,3	1,3	1,3	0,8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0
TDS (ppm) Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	260	260	260	160	0
総EC値 (mS/cm)	1.1	1.3	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.4	0.0
TDS total (ppm)	549	647	761	761	794	794	839	864	844	894	909	909	689	0

ココ培地施肥スケジュールプロ栽培者

ココ培地
(EC:0.0 mS/cm)

LongFlowering	生長期				開花期												
	幼苗 (< 15cm)	苗木 / 挿木苗 (15-25cm)	成熟過程の植物 (25-35cm)	成熟植 物 (>35cm)	週数 1	週数 2	週数 3	週数 4	週数 5	週数 6	週数 7	週数 8	週数 9	週数 10	週数 11	週数 12	週数 13
Grow / Long Flowering (g/L)	0,6	0,7	0,7	0,7	0,8	0,8	0,7	0,7	0,6	0,6	0,5	0,5	0,4	0,4	0,4	0,4	洗い流し
EC (mS/cm)	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0
TDS (ppm)	449	487	562	562	559	559	489	454	419	419	349	349	280	280	280	280	0
Booster PK+ (g/L)							0,2	0,3	0,3	0,4	0,5	0,6	0,7	0,7	0,7	0,5	洗い流し
EC (mS/cm)							0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	0.0
TDS (ppm)							100	150	175	225	250	300	349	349	300	250	0
Calcium (g/L)	0,5	0,8	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,3	1,3	1,3	1,0	1,0	0,8	洗い流し
EC (mS/cm) Calcium	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.0
TDS (ppm)Calcium	100	160	200	200	200	200	200	200	200	200	260	260	260	200	200	160	0
総EC値 (mS/cm)	1.1	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8	1.7	1.6	1.4	0.0
TDS total (ppm)	549	647	761	761	759	759	789	804	794	844	859	909	889	829	779	689	0



排水のEC値が開花期で2.0、生長期で1.8より高い場合は洗い流して肥抜きをすることをおすすめします。保存溶液は25℃で混ぜてください。複数の肥料を混ぜ合わせる場合は、沈殿が起こらないよう溶液を24時間おいてから数回振って混ぜるか、循環ポンプまたはエアストーンで攪拌してください。

ロックウール培地施肥スケジュールプロ栽培者

Hybrids	Sinh trưởng				Ra hoa									
	Ấy mầm (<15cm)	Young plants / rooted cuttings (15-25cm)	Cây đang trưởng thành (25-35cm)	Cây trưởng thành (>35cm)	Tuần 1	Tuần 2	Tuần 3	Tuần 4	Tuần 5	Tuần 6	Tuần 7	Tuần 8	Tuần 9	Tuần 10
Grow / Hybrids (g/L)	0,6	0,6	0,7	0,7	0,6	0,6	0,6	0,6	0,6	0,6	0,6	0,6	0,6	Xối
EC (mS/cm)	0.9	1.0	1.1	1.1	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
TDS (ppm)	449	487	562	562	349	349	349	349	349	349	349	349	349	0
Booster PK+ (g/L)					0,3	0,3	0,3	0,3	0,3	0,3	0,3	0,3	0,3	Xối
EC (mS/cm)					0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
TDS (ppm)					250	250	250	250	250	250	250	250	250	0
Calcium (g/L)	0,7	0,8	0,9	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	Xối
EC (mS/cm) Calcium	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0
TDS (ppm)Calcium	140	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	0

シンプルにいろいろ

基本の肥料（ベース肥料）にブースターPK+を組み合わせることも可能です。
値に幅がある場合（例えば5～7g/10L）、最小値から始め、最大値に達するまで週ごとに増やしてください。

メートル法: 5~7g/10L (水)
ヤード・ポンド法: 0.18~0.25オンス/2.5米ガロン (水)
メートル法/ヤード・ポンド法: 5~7g/2.5米ガロン (水)

メートル法: 2~5g/10L (水)
ヤード・ポンド法: 0.07~0.17オンス/2.5米ガロン (水)
メートル法/ヤード・ポンド法: 2~5g/2.5米ガロン (水)

	Grow, SFL, Hybrids, LFL	Booster	Calcium
投与スプーン約：	10g	13g	8g
テーブルスプーン約：	4g	5g	3g

バイオ製品群



弊社のミッション

バイオフィーディングは有機農業のために特別に開発した肥料シリーズです。

バイオフィーディングは天然鉱物と有機栄養素を100%配合したバイオ製品で、必要な多量要素および微量元素のすべてを与えて土壌中の微生物の活性化を促すことで、健全なソイルフードウェブ（土中食物網）の形成をサポートします。

私たちが粉末製品の開発を選んだのは、土壌の微生物と接触する面積をより大きくし、タブレットやペレットに比べて栄養分の吸収をより効率的にするために微粒子の製品が必要だからです。

バイオフィーディングにはドイツまたはスイス産の非遺伝子組換えの有機原材料を使用しています。

原料（麦芽かす、キャノーラミール〔菜種油かす〕、蒸留かすなど）の中に発生する有効な微生物は有機物の分解を助けて無機化し、植物がすぐに吸収できる栄養素を放出します。

土壌中の微生物の活動は、腐植土*を作り出す物質を供給することによって活性化します。微生物が使用する原料が必ずしも植物にとって良い栄養分であるとは限りません。

非常に効果的な肥料を作るためには特定の材料を組み合わせることが必要です。

*この過程は土壌の状態（湿度、温度、pH値、微生物活動、有機物の成分など）に左右されます。

認証

バイオフィーディングの全製品は有機農業での利用に関してコントロール・ユニオン（Control Union）による認証を受けています。コントロール・ユニオン・サーティフィケーションズはコントロール・ユニオン・ワールドグループの一部門で、有機農業において使用される製品（オーガニック・インプットプロダクト）のモニタリングを行います。オーガニック・インプットプロダクトは化学肥料、化学農薬、その他のいかなる合成成分も含んではなりません。厳しい規則を守り、コントロール・ユニオンに認可されている場合のみ認証マークを使用することができます。

バイオグロウとバイオエンハンサーは有機物質認定協会（OMRI）により認証製品として登録されています。OMRIは生産者が有機栽培に適した製品を選ぶよう、素材に関する明確な情報と指導を提供することで、誠実な有機農業（オーガニック・インテグリティ）を支援しています。

NPO法人であるOMRIは、認証生産者および業者による有機栽培および加工用としての肥料、害虫・害獣用の防除剤、家畜用の健康管理用品、その他あらゆる使用製品に対して独立の評価を行います。



バイオシリーズ

施肥用粉末製品群



BioGrow バイオグロウ

窒素：りん酸：カリウム=7：2：4



BioBloom バイオブルーム

窒素：りん酸：カリウム=7：2：4

活力剤シリーズ



BioEnhancer バイオエンハンサー

フミン酸&海藻エッセンス

BioGrow バイオグロウ

バイオグロウは成長の早い植物の生長期のために厳選の天然素材を使って特別に調合された“オールインワン”製品です。
植物がすぐに吸収できる栄養分と少しずつ放出される栄養分の両方を含む、より良い成長のための8週間分の必須栄養分がすべて入っています。
生長期において、植物はより多くの窒素を必要とします。窒素は細胞を分裂させて増やすため、葉や根の発達がピークに達する生長期にはいつも以上に必要になるのです。

豆知識

窒素は植物内を移動することができる、つまり植物が必要なところに送り込める栄養素であると考えられています。窒素不足のサインが古い葉に現れるのも、この移動可能な性質が理由です。
植物は新しい細胞を作るために、利用可能な窒素を古い細胞から奪うのです。

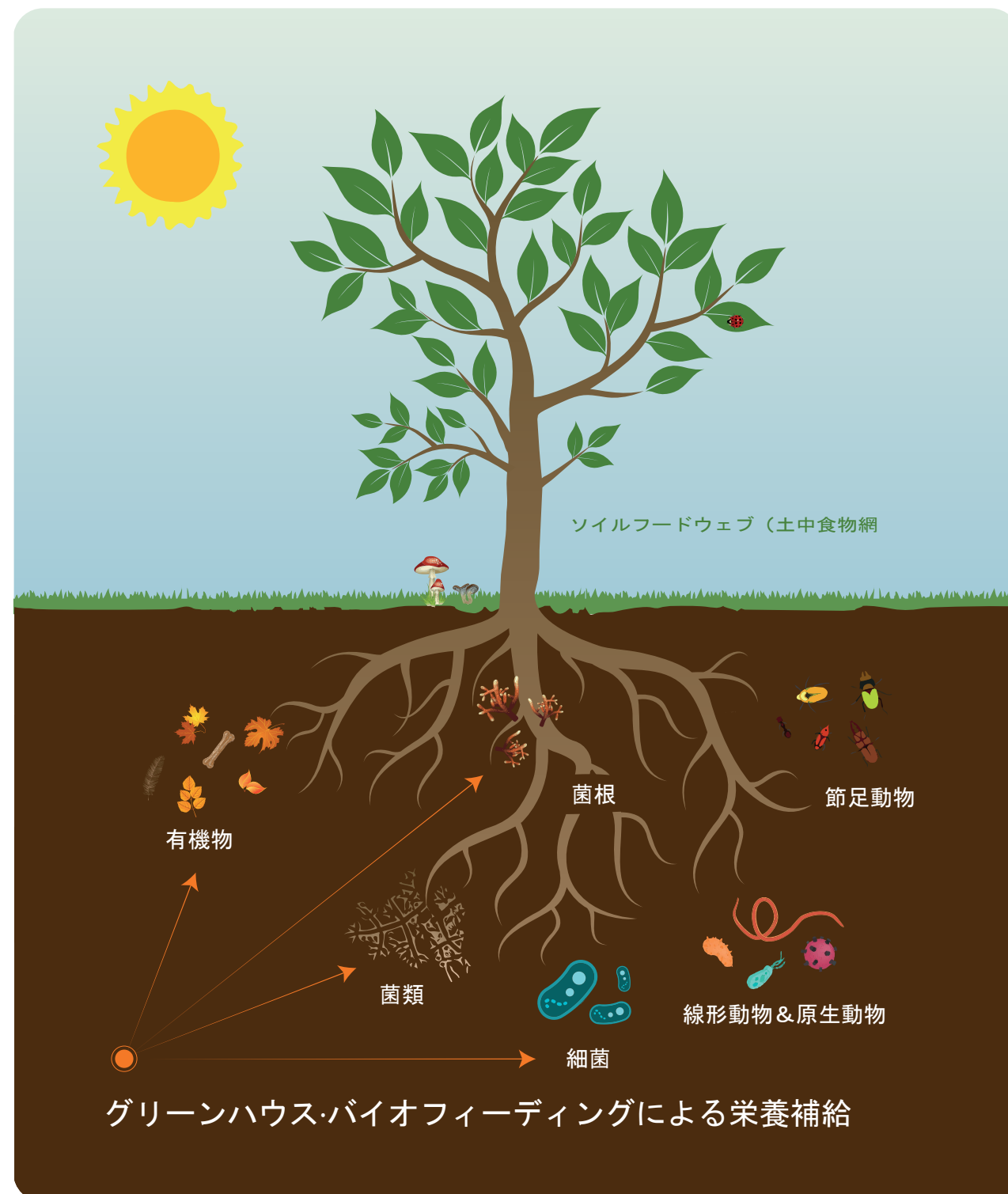


保証成分量

20%	[C]	有機炭素
7%	[N]	窒素全量
7%	[N]	有機態窒素
2%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸と中性クエン酸アンモニウム
4%	[K ₂ O]	水溶性酸化加里
8%	[CaO]	酸化カルシウム
4%	[MgO]	苦土
9%	[SO ₃]	三酸化硫黄
34%		骨粉、麦芽かす、角粉、フェザーミール、蒸留かす、菜種油かすを使った有機物。



培地の上に菌糸体が見られることがあります。これは培地の中の微生物を活性化するうえ、人間、動物、植物にも危害を及ぼしません。菌類は単糖類やアミノ酸のような有機物の分解を主体となって行います。また、植物がそのままでは吸収できない無機物を可溶化します。



ソイルフードウェブ（土中食物網）

N:P:K=7:2:4



BioBloom

バイオブルーム

バイオブルームは開花や結実のために厳選の天然素材を使って特別に調合された“オールインワン”製品です。

植物がすぐに吸収できる栄養分と少しずつ放出される栄養分の両方を含む、見事な開花や結実のための8週間分の必須栄養分がすべて入っています。

バイオブルームは適量の多量要素と微量元素を最も効率的な方法で供給する、他に類を見ない製品です。弊社は広範囲にわたる研究開発と科学研究により、自然な形態のままのリンを多く含む製品を生み出すことに成功しました。

豆知識

リンは植物に発育を支えるためのエネルギーを与えます。リン不足のサインは発育不良と青緑の葉の色です。窒素と同様に、リンが植物体内を移動でき、一番必要な部分に送り込むことができる証として、不足の際の症状はまず古い葉に現れます。



保証分析値

18%	[C]	有機炭素
4%	[N]	窒素全量
4%	[N]	有機態窒素
9%	[P ₂ O ₅]	水溶性りん酸と中性クエン酸アンモニウム
9%	[K ₂ O]	水溶性酸化加里
8%	[CaO]	酸化カルシウム
4%	[MgO]	苦土
18%	[SO ₃]	三酸化硫黄
31%		骨粉、フェザーミール、蒸留かす、菜種かすを使った有機物。有機物質。

！

培地の上に菌糸体が見られることがあります。これは培地中の微生物を活性化するうえ、人間、動物、植物にも危害を及ぼしません。菌類は単糖類やアミノ酸のような有機物の分解を主体となって行います。また、植物がそのままでは吸収できない無機物を可溶化します。



0.28lb
1.1lb
2.2lb
5.5lb
55lb

125g
500g
1Kg
2.5Kg
25Kg



0.28lb
1.1lb
2.2lb
5.5lb
55lb

125g
500g
1Kg
2.5Kg
25Kg

BioEnhancer

バイオエンハンサー

バイオエンハンサーはすべての有機栽培者に多目的手段としてお使いいただけます。主な用途は栄養吸収の促進のためと土壌改良剤としてですが、挿し木の発根や種の発芽に、また植物の生長促進のために葉面に散布するのも非常に効果的です

フミン酸とフルボ酸

フミン酸とフルボ酸はレナーダイトから採れるもので、土壌改良剤、生体触媒、バイオスティミュラント（生物刺激剤）としての働きがあります。また栄養素のキレート化を助けることで植物の栄養吸収を促進します。特に鉄分の吸収が増進し、それによりクロロフィルや糖分が多く生成され、風味や栄養価が向上します。

海藻エッセンス

海藻エッセンス（ケルプ）は62の微量元素、アミノ酸、天然植物ホルモンを含んでいます。土壌改良剤としての働きがあり、強く丈夫な根の発達を促進し、種の発芽率を高めます。さらに栄養分や水分の吸収を良くし、植物のストレス耐性を強化します。

トリコデルマ・ハルジアナム

トリコデルマ・ハルジアナムは根の発達を改善して病原真菌を発生させる様々な病気から守ることで、根張りや栄養分の吸収を良くします。

バチルス・アミロリケファシエンス

この細菌は培地と葉の病原菌の制御（バイオコントロール）に使用されます。病原菌と栄養や空間を争い合うことで多種多様な病原菌を淘汰します。また、有機物を分解することで窒素とリンを可溶化します。



保証成分量

75%	フミン酸
3%	フルボ酸
10%	アスコフィラム・ノドサム由来の海藻エッセンス
10 ⁶ cfu/g	トリコデルマ・ハルジアナム
10 ⁷ cfu/g	枯草菌
9.3	pH

炭水化物: アルギン酸、マンニトール、フコイダン
アミノ酸: アラニン、アスパラギン酸、グルタミン酸、グリシン、イソロイシン、ロイシン、リシン（リジン）、メチオニン、フェニルアラニン、プロリン、チロシン、バリン、トリプトファン



使用方法

バイオグロウー バイオブルーム

バイオグロウとバイオブルームを培地に混ぜるか、敷き肥として使ってください。
ソイル、ココ培地、またはそれらに類似した培地に使えます。
栄養分は8週間にわたって放出され続けます。

バイオグロウの使用量

生長期: 3～5g/L (培地)
親株: 3～5g/L (培地) 2ヶ月ごとに (敷き肥として)

生長期が8週間より短い場合、または培地に予め肥料が使われている場合は使用量を減らしてください。幼苗や苗 (2～3週間のもの) に使用する場合は半量にしてください。
生長期がそれよりも長い場合、2回目の (敷き肥としての) 使用が必要です。

バイオブルームの使用量

開花期が8週: 1週目 = 3～5g/L (培地)
開花期が10週: 11週目 = 3～5g/L (培地)
3週目 = 1～2g/L (培地)
開花期が12週: 1週目 = 3～5g/L (培地)
5週目 = 1～2g/L (培地)

あまり肥料を必要としない植物や施肥済みのソイルには推奨量よりも少なく、肥料を多めに必要とする植物には推奨量よりも多く使用することも可能です。

バイオエンハンサー

バイオエンハンサーを水と混ぜ、2週間に1回、水やりの際に植物に与えてください。全期 (生長期、開花期) にわたって使用できます。

より良い根張りのために、移植後にエンハンサーを使用してください。
溶液は24時間以内に使用してください。

バイオエンハンサー使用量

エンハンサーを水に加えると、pH値がおよそ8.5まで上がります。
葉面に散布する場合、またはソイルに灌注する場合はpH値を下げる必要はありません。
ココ培地に灌注する場合は、エンハンサーを加える前にpH値を5.0に調整することをおすすめします。

灌注

2週間ごとに水1リットルあたり0.5～1g使用。

挿し木の発根

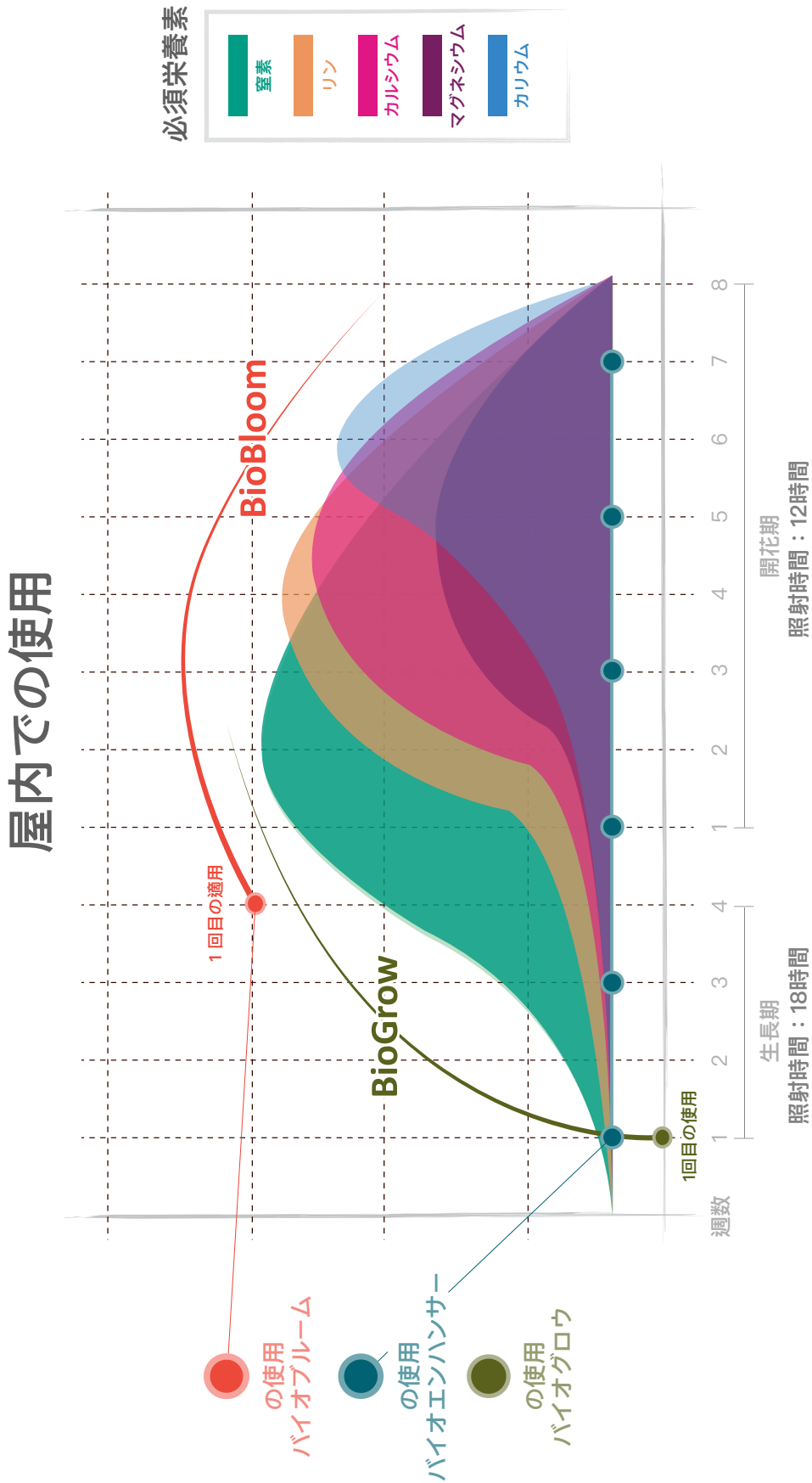
水1リットルあたり0.25～1g使用し、挿し木を入れる前に散布または灌注。

種子の発芽

水1リットルあたり0.5～1gの溶液に8～12時間種子を浸します

葉面散布

水10リットルに3～5gを混ぜ、生長期に2週間に1回与えます。親株には挿し木を取る24時間前に与えます。



開花期が長い植物のみバイオブルームの追肥が必要です。



www.greenhousefeeding.com